

大和のこころ総務委員会 事業報告

委員長 高橋 昂己

本年度、大和のこころ総務委員会は、より良い社会へと個人や地域を導く組織であるために自ら機会を勝ち取り、志と共助の精神を大切に、気概と調和の心で繋がる強固な組織を確立する事業、委員会運営を行いました。

まずは、浦安青年会議所が円滑に運動を展開していく為に、事業に対する意義目的や進むべき方向性を共有することを念頭に創意工夫をしながら総会、理事会、審査会議などを厳正かつ適正に運営してまいりました。総会においては、出席率が前年比より低下してしまい、総会の意義を伝えるため各委員会に出向くこと、また個別に連絡をするなどして参加を促すことが出来なかったことが反省する点だと考えます。しかしながら、設営上大きなトラブルやミスがなかったことは、例会設営をするうえで模範となったと考え得ます。そのような中で、理事会、総会の審議事項は全て滞りなく、可決し次年度以降へとバトンを繋ぐことが出来たと思います。

また「気概」と「調和」という日本人が大切にしてきた心を運動の根底に据える為に、茶道の講師を招き、座学、体験を行い運動に対して必要不可欠な心の部分を学び、更なる強固な組織へと深化し、団結力・組織力が養われました。また、メンバー1人ひとりが相手を思いJC活動を積極果敢に展開をしていく一助となった研修例会と考えます。

さらに、より良い社会を実現するために強固な組織である為に「浦安青年会議所の在り方」について考える事業を開催致しました。講師を招いた講演、またメンバー同士で卓越した議論を展開することでメンバー1人ひとりがしっかりと意思、意見を持つことが出来たと思えます。

そして地域間交流の可能性を広げる為に「浦安フェスティバル2017」に参画し、多くの市民に他地域の文化を肌で感じてもらい、地域社会の今後の可能性と発展に寄与出来たと考えます。

本年数多くの事業にご協力いただいた皆さまと、委員会の担いを全うしてくれた委員会メンバーにこの場をお借りして、心より感謝致します。

1年間本当にありがとうございました。